

令和5年度

一般社団法人岡山県歯科医師会立  
岡山高等歯科衛生専門学校  
学院関係者評価報告書

令和6年5月

一般社団法人 岡山県歯科医師会立  
岡山高等歯科衛生専門学校  
学院関係者評価委員会

## 令和5年度 学院関係者評価報告書

**【評価数値】**

4：適切      3：ほぼ適切      2：やや不適切      1：不適切

※ 委員の評価について平均値としており、小数点第1位までの数値で表示した。

評価項目		自己評価	学院関係者評価
(1) 教育理念・学院運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)</li> <li>・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しており、予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされ、自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> <li>・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>	4.0	3.9
(2) 教育体制・教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</li> <li>・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる優れた教員(本務・兼務含め)を確保しているか</li> <li>・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われている</li> <li>・ 学内の施設・設備、学外の実習施設は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・ 防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>	4.0	4.0
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針等を策定し、関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によるその作成・見直し等が行われているか</li> <li>・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</li> <li>・ 授業評価の実施・評価体制はあるか</li> <li>・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症など社会生活に大きな影響が生じた場合、教育活動を十分に確保できる体制ができているか</li> </ul>	3.8	3.9
(4) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>・ 学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> </ul>	4.0	4.0

評価項目		自己評価	学院 関係者 評価
(5) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生募集活動は、試験内容の見直しを踏まえ、教育成果を正確に伝えるなど適正に行われているか</li> <li>・ 学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>	3.5	3.8
(6) 学修成果、社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・ 就職率の向上が図られているか</li> <li>・ 退学率の低減が図られているか</li> <li>・ 卒業生への支援体制はあるか</li> </ul>	3.8	3.9

○ 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>自己評価</p>	<p>学校運営、教育活動は教育理念・教育目標に基づき、年間教育計画を策定し、その完全実施をめざし、適切かつ円滑に目標達成に向け事業が進められた結果、国家試験合格率、就職率はともに良好であり、概ね当初の目標を達成することができた。</p> <p>具体的には、歯科衛生士の将来像について検討し、コミュニケーション能力の向上や基礎的化学知識の強化を課題と捉え、令和5年度からのカリキュラム変更反映させた。</p> <p>また、充実したキャンパスライフを享受できるよう、学生の交流集会を開催したほか、軽食飲料の販売コーナーの設置、トイレの増設などを行い、学院が、教育研究の場である学術空間としてだけでなく、交流の場である社会空間としての機能性が高まるよう努力した。</p> <p>このほか、様々な問題を抱える学生に対しては、担任教員、教務担当講師を中心に個別相談を行い、教務担当者全体で情報を共有し、問題解決が図れる態勢の整備に努めた。</p> <p>今後の課題としては、デジタルデンティストリー、DXなど急速に進む歯科医療のデジタル化への対応や、より充実した学院生活が送れるよう、設備面の充実だけでなく人的交流の更なる促進などが挙げられる。</p>
<p>委員評価</p>	<p>具体的な目標達成に向けて努力し、概ね目標を達成し、その客観的成果である歯科衛生士国家試験については、100%に近い合格率を達成したことをはじめ、就職についても良好な結果であり、適切な運営が行われたものと評価する。</p> <p>こうしたなか、定員数の確保が喫緊の課題となっている。全国の学校においても同様に苦慮しているが、歯科衛生士という職業の魅力や、本学院の魅力をもっと広く周知することが必要であり、歯科医師会立という特性がいきるよう本会との一層の連携強化が望まれるほか、卒業生との一層の関係構築が望まれる。</p> <p>また、充実した教育内容を維持するために、中長期的な展望をもって、講師、教員の確保に努めていただきたい。</p> <p>次に、学生が充実したキャンパスライフを享受できるよう関係者が情報を共有し、問題解決が図れる態勢の整備が望まれる。同時に、学生との意見交流の場が保持されていることが重要であり、学生の健康管理面も含め体制の更なる整備を考えていただきたい。</p> <p>最後になるが、不慮の天災等で被災した場合の行動マニュアルや防災物品の確保などについて、事業継続やリスク回避・低減という観点から取り組みの強化をお願いしたい。</p>

岡山高等歯科衛生専門学校 学院関係者評価委員会

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	平 滋 之	津山歯科医師会会長
副 委 員 長	横 山 尚 史	岡山市歯科医師会会長
委 員	田 頭 一 晃	岡山県歯科医師会常務理事
委 員	中 村 慶 男	岡山県歯科医師会常務理事
委 員	北 山 仁	岡山県歯科医師会理事
委 員	後 藤 弘 幸	岡山県歯科医師会理事
委 員	大 森 潤	倉敷歯科医師会会長
委 員	大 上 宏 己	児島歯科医師会会長
委 員	佐々木 順 造	前岡山医療専門職大学健康科学部教授
委 員	高 木 慎	元岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 準教授